

安倍川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

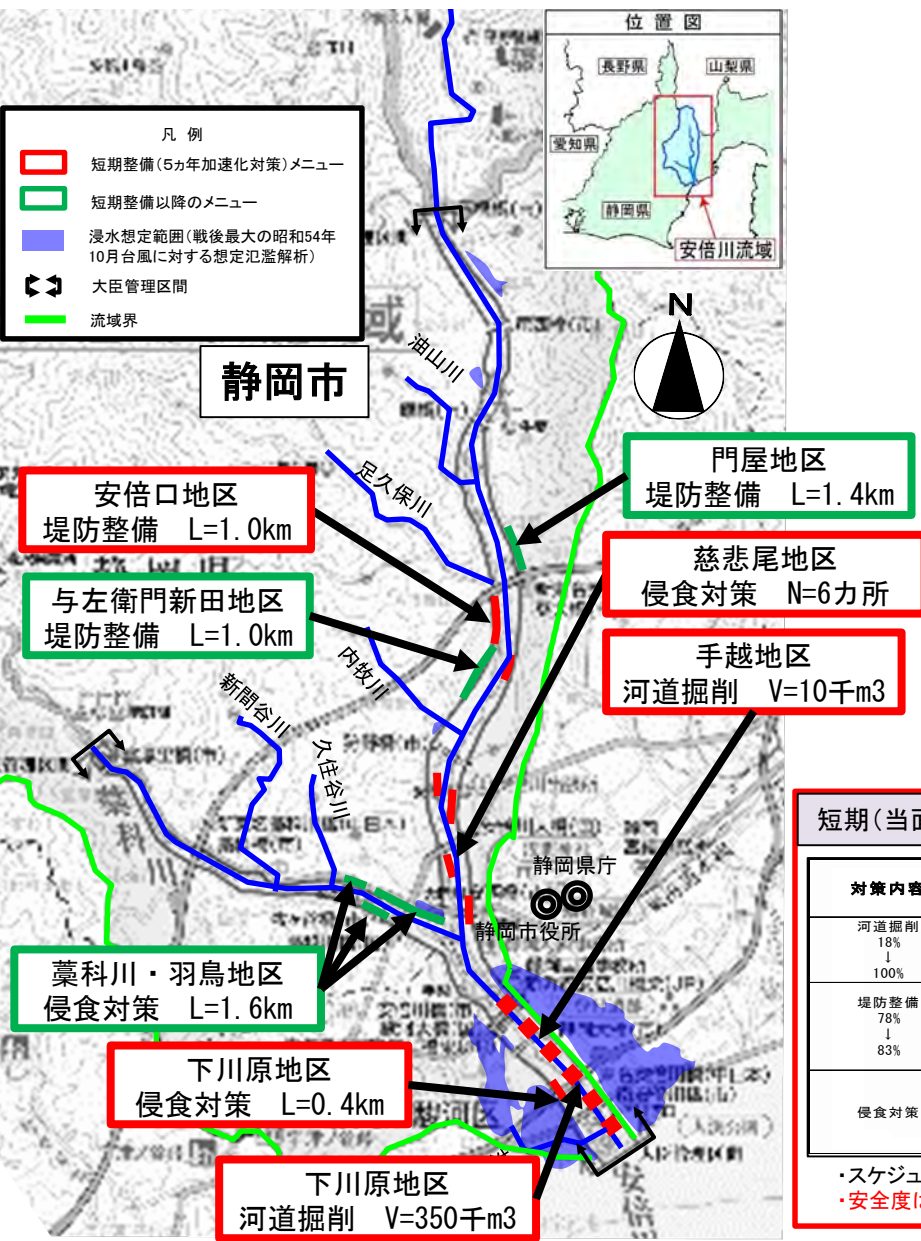
資料-7

※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性がある。

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～

- 下川原・手越地区の河道掘削および安倍口地区の堤防整備事業、河岸侵食対策のR7完了に伴い、S54.10月洪水規模（観測史上最大流量）の洪水でも直轄管理区間でHWL以下で安全に流下させることが可能。
- 静岡市街地における侵食破堤のリスク軽減を図るために、安倍川と左衛門新田・門屋地区および藁科川においても河岸侵食対策に着手する。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約90%→約93%



現状	短期
	※国直轄事業の実施による効果を示しています。
<p>今年度末公表予定 現況・短期の外水氾濫リスクマップを載せる予定</p>	

※外水氾濫の氾濫想定範囲は、侵食・漏水破堤の影響および出水中の河床上昇による影響は含まれません。
 ※外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
 また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破堤する恐れがあります。

短期（当面5カ年）及び短期以降の事業スケジュール

対策内容	地区	工程		
		短期 (R3~R7) 1/0~1/0	中期 (R8~R12) 1/0~1/0	中長期 (R13~R19) 1/0~1/0
河道掘削 18% ↓ 100%	手越地区	100%		
	下川原地区 16.4%	100%		
堤防整備 78% ↓ 83%	俵沢地区	0%	100%	
	安倍口地区	100%		
	与左衛門新田地区		0%	100%
	門屋地区		0%	100%
侵食対策	安倍口地区	0%	100%	
	慈悲尾地区	100%		
	下川原	50%	100%	
	藁科川		0%	100%

・スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。
 ・安全度は、上図に記載されている確率を転記したものです。(※1)

短期整備完了時の進捗

- 手越地区 河道掘削 100%
- 下川原地区 河道掘削 16%→100%
- 俵沢、足久保地区 堤防整備 0%→100%
- 安倍口、慈悲尾、下川原地区 侵食対策 0%→100%